

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立深阪小学校
校長 日野伸子

中学校区におけるめざす子ども像

健やかに成長する児童・生徒 表現力豊かな児童・生徒

令和7年度 重点目標

「社会の中で生きる喜びを感じながら、よりよく生きる子どもを育成する」(学校教育目標) 「自ら考え、つながり、楽しく探究する子どもの育成」(重点目標)

「確かな学び」の現状

- ・学校独自のアンケート調査(深阪っ子アンケート)項目の「楽しく学校に通っている」肯定的評価は94%と高い。
- ・R6年度の各種調査や深阪っ子アンケートより、児童の学習に対する意欲は高いが、調査テストにおける知識や技能の定着は学習意欲に伴わず、期待値よりも低くなっている。しかし、表現力の部分において、授業における取組の成果が表れ、「書く力」が子どもたちの文章・作品等から力を伸ばしている。
- ・1人1台パソコン活用推進の取り組みについて、授業での使用頻度は高くなってきているが、家庭に持ち帰っての活用に至っていない。
- ・全体的に教師の指示通りしようと努力できるが、自分で計画を立てたり、自分で考えたりして主体的に学習を進めることに課題がある。

「豊かな心・健やかな体」の現状

- ・R7年度から予鈴を取り入れたことにより、始業時間を意識した行動ができつつある。しかし、廊下を走ったり、遊んではいけない場所で遊んだり、無意識的にルールの順守ができていない様子が見られる。
- ・深阪っ子アンケートの結果「進んであいさつしている」児童が76%で、継続して取り組みが必要である。また、優しい声掛けをする児童もいる反面、言葉遣いのまですで人とうまくつながることができない児童もいる。
- ・支援が必要な児童への対応、指導について、本人や保護者との関わりにより一定の成果が見られ改善しつつあるが、より効果的な校内体制や教師間の連携等について研修を進めていく。
- ・R6年度の体力・運動能力・運動習慣等調査結果より、体力や運動能力の値は堺市平均域であったが、体力や運動能力の向上に対する目的意識や意欲については低かった。

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)			
								自己評価	学校関係者評価		
授業改善・総合的な学力の向上 確かな学び		●子どもの眩きを繋いで、主体的に学ぶ授業をつくる(探究的な学び)	●児童の実態把握のためのアセスメントを行い、児童と共に単元計画を立て、自分たちで学びに向かえるようにする ・学びのコンパスを意識した授業づくり	肯定的評価 80%以上でA 肯定的評価 50%以下でC	堺市評価 深阪っ子アンケート 学習ノート ワークシート ポートフォリオ	各学期末	B 全教科・全単元とは言わないが、授業の中で意識をし、児童がめあてや見通しをもって学びに向かえるよう日々取り組みを進めている。	A	・1年を通して、自律的学びを促す授業や発言・調べ学習の充実へ努めた結果、主体性が向上したといえる。また、まとめの場では自分に合う方法で自分の言葉で伝えようとする姿も増えてきている。	A	・学校が様々な取り組みをしていることが分かった。子どもは吸収が早く、学校がよいきっかけ作りをしていて、授業参観の様子を見て、先生方が児童のつぶやきを丁寧に拾って授業を進めているのがよくわかった。最後の参観では、学んだことを一生懸命伝えようと表現していたことなど子ども達が進んで学んでいる様子が伝わった。大人が思う以上のことを自分たちで調べて発表していた様子など見られて、感心した。
			●★児童のつぶやきや気づき、ふり返りなどから学習を進める、児童主体の授業実践の推進 ・探究的な学び、自校ならではの学び、STEAM教育・ふり返りの活用	肯定的評価 80%以上でA 肯定的評価 50%以下でC	堺市評価 深阪っ子アンケート 学習ノート ワークシート ポートフォリオ	各学期末	B アンケートの結果より、肯定的回答が目標の80%にあともう一歩というところまできている。引き続き、目標が達成できるように取り組みを続けたい。	A	・ほとんどの項目は達成しているが、「調べたことや考えたことを伝える・発表する」については、教師の感覚ではできてきているものの、児童自身はそう捉えていないように感じられる。発表には多様な形があるため、その在り方を一緒に確かめながら、より自信をもって取り組めるよう支えていきたい。	A	・学習にPCの使用が浸透していると感じた。iPadに代わり、ますます効果的な学習が期待できる。家庭での使用はログインなど時間がかかり不便な面もあった。
			●ICTを活用した授業・家庭学習の推進 ・深阪 ICT モデルの活用	肯定的評価 80%以上でA 肯定的評価 50%以下でC	堺市評価 深阪っ子アンケート 学習ノート ワークシート ポートフォリオ	各学期末	B 授業の中ではよく使っており、児童のアンケートからもそのような高い結果が出ているが、家庭でとなると、機械の問題などもありまだまだである。児童の自主的な学びを後押しする意味でも、今後どのように取り組みを進めていくか検討し、取り組みたい。	B	・タブレットで調べた内容をそのまま書き写し、自分の考えとしてしまう児童が多いため、理解が深まり、確かな知識の獲得につなげられるように今後は取り組んでいきたい。	A	・「言葉の宝箱」は、覚えるだけでは活用できないので、児童の実態に合わせて取り組むとともに、読書量を増やして語彙力と意味理解を深めることが有効だと考える。
			●語彙力等基礎学力の定着に向けた実践の推進 ・言葉の宝箱、タイピング、ドリルパーク	肯定的評価 80%以上でA 肯定的評価 50%以下でC	堺市評価 深阪っ子アンケート 学習ノート ワークシート ポートフォリオ	各学期末	B 意識はしているものの、肯定的回答が66%というアンケート結果であった。昨年度に比べると研修テーマも変わったこともあり、取り組みが浅くなっている部分もあるが、本校児童の課題でもあるので、取り組み方を見直していきたい。	B	・授業の中で本に触れる機会が着実に増え、読書に興味を示す児童も広がっている。一方で、休み時間には外遊びを楽しむ児童も多く、子どもたちはそれぞれ多様な過ごし方を	B	

カリキュラムマネジメント		<ul style="list-style-type: none"> ●授業づくりにおける学校司書との連携と学校図書館の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・学校司書との連携 	肯定的評価 80%以上でA 肯定的評価 50%以下でC	堺市学調 深坂っ子アンケート 図書館活用記録	各学期末	B	図書室の利用が増えて蔵書の活用も進んでいるが、学校司書との連携という意味ではまだまだできそうな可能性を秘めた部分があるので、今後その点について取り組んでいきたい。	B	している。こうした違いを踏まえ、教師と児童で読書への思いや捉え方を共有しながら、より楽しく読書に親しめる環境づくりを進めていきたいと考える。 ・堺市が取り組む『学びのコンパス』の指針に基づき、子どもが自ら学びを進める授業づくりをめざして教育委員会と連携した研修を行い、2月の発表に向けて資料作成・カリキュラム作成・授業のモデル提案まで行って達成している。	A	・学校司書が授業の支援を行ったり、図書館の環境整備を整えたりした成果が表れている。児童の読書習慣をつける一助として地域やPTAにも図書館を開放して、大人も読書を楽しんでいる様子を見せてもよいと思う。	
		<ul style="list-style-type: none"> ●生活科・総合的な学習の時間における授業モデルの作成 <ul style="list-style-type: none"> ・学びのコンパス、STEAM 教育、生活・総合ファイルの活用、カリマネの見直し、改善 	肯定的評価 80%以上でA 肯定的評価 50%以下でC	堺市学調 深坂っ子アンケート	3学期	B	堺市が取り組む「学びのコンパス」の指針に基づき、子どもが自ら学びを進める授業の構築をめざし、教育委員会と連携した研修などを行っている。	A		A		
生徒指導・人権教育	豊かな心・健やかな体	<ul style="list-style-type: none"> ●何事にも自主性をもって取り組むことができる深坂っ子の育成 ●ちがいを理解し、認め合い、自分も人も大切に、主体的につながる子の育成 ●子どもも教師もいきいきと過ごせる楽しい学校をめざす 	<ul style="list-style-type: none"> ●あいさつを励行し、良好な人間関係を築く <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ運動 きょうだい学年活動 ●「深坂っ子の約束」を守り、自主的に考え、行動できる子どもを育てる <ul style="list-style-type: none"> ・クラブ、委員会活動・全校朝会・道徳教育 ●インクルーシブ教育システムの理念に基づいた「交流および共同学習」の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい学年活動・どんぐり交流会 	肯定的評価 80%以上でA 肯定的評価 50%以下でC	堺市学調 深坂っ子アンケート	各学期末	B	代表委員会を中心に、高学年、中学年とともに、進んであいさつする態度を育むために、あいさつ運動を行っている。	B	・あいさつに関して肯定的意見が80%と達成はしているが、「自分から進んであいさつをする」という点においては、課題が残っている。引き続き、あいさつ運動や啓発を通して、より良いコミュニケーションをはかろうとする児童の育成をめざしたい。 ・きまりの順守においても、肯定的意見が80%以上となっており、少しずつ周りに目が向けられるようになり、達成できている。今後は自己のふるまいや行動について考えることができるようはたらきかけたい。また、異学年交流においては、上級生が下級生に優しい声かけやリードする姿が見られた。上級生は型があれば中心となって進めることができるが、まだまだその引き出しが少ない場面も見られるので、児童主体の活動を豊かにし、その力を身に付けさせたい。どんぐり学級との交流会では、支援学級児童と通常学級の児童がともにレクリエーション等で協力したり楽しんだりする姿が見られた。	B	・会うと元気に挨拶してくれる子どもが増えてきている。休日にもジョギング中の親子が気持ちよく挨拶してくれた。家庭から子どもへの働きかけも必要だと思う。 ・色々な交流をしていることがわかった。
			<ul style="list-style-type: none"> ●体力、運動能力向上の目標を明確に持つことができる授業や行事の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・体育でめあてを意識して取り組めるような体育カードの利用。子どもが楽しみ、主体で取り組む体育参観。なわとびタイム。 ●★「早寝・早起き・朝ごはん」の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭への啓発 ・保健授業をいかした健康への理解をはかる 	肯定的評価 80%以上でA 肯定的評価 50%以下でC	堺市学調 深坂っ子アンケート	各学期末	B	・体育参観に向けて、各学年団でめあてを立て、それぞれの目標に向かって主体的に取り組んだ。 ・3学期に行うなわとびタイムは、更なる体力向上を目指し持久走に変更予定。	A	・体育の授業についての肯定的回答が87%という結果であったことから、児童が体育のめあてを明確にもち主体的に授業に取り組めてきているといえる。 ・体力向上の取り組みとしては、今年度はかけ足集会を実施した。児童全員が自分のペースで活動する様子がみられ、体力向上の意識が高められたと考える。 ・早寝に関して、10時までに寝ている児童が48%という結果であった。今後も家庭と連携し、眠育などの具体的な取り組みについて考えていく必要がある。	A	「早寝・早起き・朝ごはん」に関してはもつと保護者に啓発していった方がよい。評価方法もアンケート結果だけでなく、学校の保護者への啓発回数などに変更してもよいと思った。
			<ul style="list-style-type: none"> ●★「早寝・早起き・朝ごはん」の定着 <ul style="list-style-type: none"> ・家庭への啓発 ・保健授業をいかした健康への理解をはかる 	肯定的評価 80%以上でA 肯定的評価 50%以下でC	堺市学調 深坂っ子アンケート	各学期末	C	・質問紙の回答より、毎日10時までに寝ている児童の割合が60%を下回っているため、学習や配付物などで啓発していく。	C		C	
(独自課題)	地域・学校群	<ul style="list-style-type: none"> ●地域や家庭、学校間等との連携を深め、さまざまな人と関わって学ぶ環境を整備する 	<ul style="list-style-type: none"> ●★学校群、架け橋期の取り組みを行う <ul style="list-style-type: none"> ・小中合同研修・保育体験 	肯定的評価 80%以上でA 肯定的評価 50%以下でC	堺市学調 深坂っ子アンケート	3学期	B	・小中合同夏季研修では、学校群で子どもたちをどのように育てていくか(グランドデザイン)について確認と共有を行った。 ・架け橋期の取り組みとして、近隣の幼保育園と1年生とで連携をとり交流を行っているところである。	B	・小中で連携して、互いの授業観察や6年生の連運の補助、生徒会交流などを行い、児童生徒の様子を知ること、また6年児童は中学校へのつながりや親近感を持つことができた。 ・架け橋期の取り組みでは、1年生と近隣の	B	・3年生の地域の学習を終えてのまとめ、お地蔵様に関する記述を見て、地域の人の思いが子どもに伝わっていると感じた。 ・防災授業の講師を務めた際、子どもたちの調べる内容の深さに驚いた。熱心に学習していると感じた。

		<ul style="list-style-type: none"> ●家庭との連携、地域の特色や人材等を生かしたつながりのある教育をめざす ・生活・総合ファイルの活用 	肯定的評価 80%以上でA 肯定的評価 50%以下でC	堺市学園 深阪っ子アンケート ポートフォリオ	3学期	B	防災教育や環境教育、町探検等の学習で、校区内外の方に協力をいただき、活動を進めている。学校と外部とのつながりを構築できつつある。	B	3つの幼保園と交流することができた。1年生は相手を思いやりながら関わりを楽しむことができていた。 ・主に生活科や総合的な学習で、校区内外の方々に学習活動の趣旨の理解とご協力をいただき、人と関わって学ぶ環境を支えていただけた。児童は、周りの方々への感謝の気持ちをもつことができた。	B
--	--	--	--------------------------------	------------------------------	-----	---	---	---	--	---

校長より（年度末）確かな学びにおいて、「子どもの眩きを繋いで主体的に学ぶ授業づくり」については、全ての学年で授業改善が進み、児童の主体的な姿が見られるようになった。児童自身、学習に対して自信をつけ、前向きに学びに向かう土台づくりができ、意欲の高まりが見えたことは今後につながると思います。また、豊かな心の育成では様々な取り組みにより、気持ちのよい挨拶をできる児童が多く見られ、お互いを思いやる気持ちが育ち学校全体として改善が見られました。地域からも良いつながりが見られるお声をいただいたことはよかったです。健やかな体においては、保健指導や日常の体育授業やかけ足タイムなどの取組により、体力面では堺市平均を上回る項目も多く、活発に体を動かす児童が多かったです。ただ、「早寝早起き朝ごはん」という基本的生活の定着や家庭学習の習慣が課題であり、その点が学習に影響している児童も少なからずいることが今後の課題と考えます。今年度、防災訓練を筆頭に様々な点で地域の皆様やPTAの皆様との連携が進み、子ども達に大人が連携して安心・安全な学校を作ることができました。そのことにより、子ども達のすこやかな学びを大きく進めることができました。1年間、ありがとうございました。

学校関係者評価者から（年度末）

- ・2月の参観ではどの学年も1年の学習活動の集大成が見られ、協力して発表することができていた。
- ・いきいきと前向きで積極的にまとめたことを発信していた。